

＜生産環境工学科＞（認定課程 高一種免（農業））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	自然関係科目(生物学、化学、物理学、地学)、数学関係科目、情報関係科目、語学関係科目、人文関係科目を学び、農業教員としての常識的知識を習得すると共に、教職についての理解を深め、教員として必要な適性を身につける。
	後期	力学関連科目、数学関連科目、語学関係科目、人文関係科目を修得し農業教員として必要な基礎知識を習得すると共に、グループワーク授業により教員として必要な人間関係の構築方法およびプレゼンテーション能力の基礎を習得する。
2年次	前期	測量学、統計学、地形地質学等の農業関係基礎科目および構造力学、土木材料学等の農業土木基礎科目と、エネルギー工学、生産機械情報工学等の農業機械基礎科目を修得し、農業教員として必要な専門基礎知識を身につけると共に、キャリアデザインやビジネスマナーによって社会の一員である教員としての常識を身につける。
	後期	力学系科目、電気・電子工学、食品工学など農業教員としての専門科目を修得し、基礎実験により農業工学に関連した実験手法の基礎を習得する。
3年次	前期	土、水を基礎とした農業土木および農業機械専門科目を修得し、農業教員に必要な専門知識を身につける。また課題発見・解決型科目でグループワークを行うことによって、他者と共同して仕事をする能力、コミュニケーション能力を身につける。
	後期	農地環境工学、環境土木学、農村環境整備学等を修得し、農業教員として必要な環境に対する理解と、環境保全のための技術を身につける。また不特定多数を対象としたプレゼンテーションを行い、説明能力を身につける。
4年次	前期	演習科目により、課題発見能力、理論的思考能力、課題解決能力を身につける。また教育実習を通して、これまでに身につけた能力を実践し、さらに教職の実態を理解することで、教員としての資質を身につける。
	後期	卒業論文に関する調査・実験を立案、実施することで、課題解決に向けた思考能力と実行力を身につける。また卒業論文をまとめることで、理論的説明能力と限られた時間で仕事をする能力を身につける。これにより農業教員として自主的、継続的に学習できる能力を獲得する。